

真野の子ども

2021. 9. 1 発行

不便さの中に、自ら楽しさを見つけられる 2 学期に！

2 学期が始まりました。1 学期の終業式で、新型コロナウイルス感染防止や熱中症に注意して過ごすようにと話しましたが、家庭や地域の方々に見守られ、大きな事件、事故なく、子ども達はそれぞれに夏休みを過ごせたようです。ありがとうございました。

さて、現在世界中で猛威をふるっている新型コロナウイルスですが、滋賀県にも 9 月 12 日までの緊急事態宣言が出されました。これにより、様々な場面での活動の制約や制限された中での学校生活を余儀なくされます。そんな中でも 2 学期を、自分のめあてに向かって努力したり積極的に取り組んだりする、生き生きとした姿で過ごしてくれることを期待しています。また、友だちのがんばりを応援し、互いに支え合える集団になってほしいと願っています。

私たち教職員が一丸となって、子ども達と関わり、小さな変容をしっかりとらえ、指導していきたいと思っています。お子さんのことで、ご心配なことがありましたら、学校までどうぞお気軽にお知らせください。

相手の目を見て『あいさつ』を！

1 学期の「もくもくそうじ」に続き、2 学期は「あいさつ」が重点目標です。人と人をつなぐ一番初めのコミュニケーションが「あいさつ」です。様々な場面で、誰にでも進んで気持ちのいいあいさつができる、そんな真野小学校になるよう、大人が見本を示していきましょう！

ネットトラブルに気をつけて！

スマートフォン、ゲーム機、タブレットなどで使用できるインターネットは便利な反面、使い方を誤ってしまうと、いじめ等の被害者にも加害者にもなり得ます。例えば、オンラインゲームで仲間に入れない、相手を傷つける言葉を言うってしまう等、相手の表情が見えないために起こるトラブルを招くことが考えられます。

「身近にインターネットがある」＝「適切に使うことができる」ではありません。子どもに交通ルールを教えるのと同じように、インターネットの適切な使い方を丁寧に説明し、身に付けさせていく必要があります。

子どもと一緒にルール作りをしてみてください。

例えば…

- 接続するサイトやダウンロードするアプリは、保護者が確認する。
- 利用料金や利用時間を決める。
- 個人が特定される情報を書きこまない。
- 知らない人と電話やメール、メッセージの交換をしない。
- 困ったことがあれば、必ず保護者に相談することを伝える。
- ルールを守れなかったときのルールを決める。 など

インターネットでは、名前を隠して書き込みをしても、警察が調べればどこから書かれたかすぐにわかります。